

12年ぶりの選択肢！新しい風を鏡野町に！  
住みやすい町には人が集まる



生活の足、  
地域交通を  
まもる！

心と体を育てる  
食育と農業  
推進！

地消地産で、  
地域の経済を  
まわす！

町のことは、  
みんなで  
決める！

みつ よし  
**光吉ひとし**  
町政レポート

No.7  
2021.2

[光吉ひとし後援会 討議資料]

## 私も応援しています

**\* 堀川 涼子さん**  
(社会福祉士・大学教員)

鏡野町は、春夏秋冬の彩り豊かな魅力的な町です。  
その町に新たな風を吹かせて、ますます爽やかにしてくれるのが光吉さんだと期待しています。  
広い視野で考え、自然を慈しみ、弱い人の立場に立って行動できる誠実な方です。  
知り合って30年近くなりますが、その姿勢はぶれることはありません。  
鏡野町の新たな風、光吉準さんを応援しています。

**\* 福嶋 浩彦さん**  
(元我孫子市長、元消費者庁長官)

住民一人一人の思いから出発し、みんなで話し合って合意を作り、その合意で社会を築くのが地方自治です。  
ですから、住民との話し合いの中から町の進む方向を生み出しているのが本物のリーダーであり、まさに光吉さんが適任です。  
さらに光吉さんは、地産地消の農業経営や地域ケアの仕組みづくりなど、人口減少社会における地域づくりに多くの知恵を持っておられます。  
その手腕に心から期待しています。

**\* 宇田 衛さん (同級生)**

もう一仕事、次の世代のために頑張ろうとする光吉君とともに、鏡野町に新しい風を吹かせたい。

## 編集後記

東京オリンピック・パラリンピックにからんでの「女性蔑視発言」は、ジェンダーギャップ指数が153カ国中121位というこの国の姿を世界に発信してしまいました。「女性理事4割は、これは文科省がうるさくいうんでね」との発言もありました。鏡野町はどうでしょうか。本会議のテレビ中継を見れば一目瞭然ですが、執行部席にも議員席にも女性は一人だけ。

社会の構成を反映しているとは、到底言えません。  
時間はかかりますが、着実に変えていきたいですね。



日課の靴磨き

## ■光吉準 (ひとし)

### プロフィール

1956年(S31年)生まれ。芳野小学校、鏡野中学校、津山高校、岡山大学法文学部法学科卒。2011年、両親の介護のため帰郷。1995年より岡山市議・県議のスタッフ、「自治体議員政策情報センター」幹事などをつとめる。  
2017年、鏡野町議会議員に当選。文教厚生常任委員会副委員長、議会運営委員会委員長、広報特別委員会委員長をつとめる。  
2020年10月議員を辞職。

■ 光吉ひとし後援会 〒708-0331 岡山県苫田郡鏡野町布原144-2  
TEL 0868-54-7251 FAX 0868-54-7252  
h-mitsuyoshi@wi.kualnet.jp http://kagamino.org



# 夢を語り、未来を創る

町のことはみんなで決めよう。町づくりは情報を公開し共有し、ともに議論することから始まります。私たちの持つ一つひとつのアイデアをつなげ、生かしていきましょう。

合併により鏡野町が誕生して16年、少子高齢化の中で人口が減り続け、また農業や林業の厳しさも増えています。

しかし自然豊かな鏡野はエネルギーも食料も自給できる町です。地消地産で地域の経済を回したり、新しい産業のあり方を生み出し生活基盤を豊かにしていくことで、10年先も安心して暮らせる鏡野町をつくり出しましょう。それにはだれもが参加できる町政が必要です。町の持つ情報を公開・共有し、語り合う場が必要です。一人ひとりの知恵を生かしあい、協働のまちづくりを進めましょう。特にコロナ禍の今は、従来の発想では町づくりは前には進みません。新しい町をボトムアップでともに作りましょう。

て暮らせる鏡野町をつくり出しましょう。それにはだれもが参加できる町政が必要です。町の持つ情報を公開・共有し、語り合う場が必要です。一人ひとりの知恵を生かしあい、協働のまちづくりを進めましょう。特にコロナ禍の今は、従来の発想では町づくりは前には進みません。新しい町をボトムアップでともに作りましょう。



## 水の豊かな町

エネルギー自給のできる鏡野こそ、その特色をいかした町づくりを。環境学習にも取り入れましょう。

## 子どもと共に育つ町

子どものことを気軽に相談できる分かりやすい窓口を。妊娠、出産から成人まで、切れ目ない支援や療育の機会があれば、子育ての負担も減り、子育て、親育ちの環境も整います。子どもたちの学びを支え、安心して活動、交流できるスペースがあれば、子どもたちの居場所と同時に子どもが悩みを誰かに相談できる場所にもなります。子どもたちの意見も取り入れながら、地域のみんなで子どもを共に育む町づくりをすすめていきたいです。

## 生活の足の確保

買い物や病院への足となるデマンドタクシー（安価な乗合タクシー）の運行で、高齢者の皆さんに安心と楽しみを。まちづくり協議会が運営し、自家用車を用いて有償で運送する自治体も現れています。

## 元気な農業を

残念ながら農業就業者数、耕地面積などは減り続けています。一方都会では自給自足の必要性を感じて、移住先を求める若者が増えています。鏡野町の田畑や果樹園などを守り、繁栄させていくために、農業にも力をいれていきます。

### 鏡野町第2次総合計画（後期計画） 気候危機への取り組みの強化を

新年度から5年間の総合計画が策定されました。町の将来のために、若い人の意見を聞く取り組みがなされたことをうれしく思っています。またSDGs（国連サミットで採択された「持続可能な開発のための国際目標」）の観点を取り入れたことも評価したいです。

しかし「気候危機」や「プラスチックゴミ」などへの取り組みはありません。これからの取り組みを積極的に進めていきたいと思っています。大規模災害は毎年繰り返され、農業への影響も出ています。町全体で学びと気付きを深め、真剣に先進的に取り組んでいきたいと思っています。